

こわだ防災

Vol, 8 2020年11月

災害時, 私たちに出来ることは

コロナに負けず安否確認訓練(第4回) 令和2年10月18日(日)実施

毎年5月に行ってきた「安否確認訓練」ですが、コロナウイルスの終息が見られず、今年は10月に延期して実施しました。各自治会 話し合いの上でできる範囲で行う形となりました。

日頃から、ご近所と顔の見える関係、挨拶の交わせる関係が災害時の「自助」「共助」の基本となってきます。

安否確認訓練を機に、皆さまの身近な自治会活動に関心をよせて参加、ご協力をお願い致します。

訓練の流れ

想定した災害が発生し、6自治会9時より、いっせいに安否確認を実施

確認した世帯数を各自治会地区拠点へ報告

各自治会拠点にて集計し、小和田地区自治会連合会の防災対策本部へ報告

地域防災拠点(小和田小学校)本部にて集計
※報告訓練
市の防災対策課へ報告
(今年はナン)

防災対策本部: 小和田小学校



安否確認訓練各自治会集計表

自治会名	本宿	新宿	菱沼小	赤松町	赤松	プラン	合計
確認対象世帯数	1,479	991	1,006	467	577	99	4,619
目印あり	958	630	668	294	249	98	2,897
目印なし	312	361	338	173	328	0	1,512
不在	152				0	1	153
不明	46				0	0	46
その他	11				0	0	11
確認合計数	1,479	991	1,006	467	577	99	4,619

本宿自治会

今年、コロナウイルス感染防止の影響で10月開催となり、変化したことが多くありました。年度初めの総会が書面会議となり新規の組長・班長さんがお互いに顔合せが出来なかったため、安否確認についての十分な説明が出来ていなかった。回覧板で事前の説明をして自治会員と組長・班長さんにも周知出来たつもりでしたが、結果として2件(二つの班)のトラブル(①チェックシートがない ②班長さんの理解不足)が生じて手間取ってしまい急遽スタッフ(防災リーダー・自治会無事役員・民生委員児童委員)が集中して緊急応援の対応をしました。

今回は色々な事が起きて良い経験が出来ました。予定時間は少し超過しましたが「自治会全体の参画訓練」としては緊迫感を持って実のある訓練が出来ました。

30名のスタッフで反省会を行い、更に細部にわたり改良すべきところを発見。何より「実務の自治会員」と「情報伝達の組長班長」と「補佐的な連携を担ったスタッフ」が一体になったところを強く感じました。来季は更にタオルの確認率が上げられるよう工夫を重ねていきます。



地区拠点...本宿自治会館

小和田地区自治会連合会

赤松自治会 < 550世帯
赤松町自治会 < 545世帯
新宿自治会 < 1,020世帯
本宿自治会 < 1,610世帯
菱沼小和田自治会 < 1,200世帯
プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会 < 100世帯
2020年4月現在 加入世帯数(5,025世帯)

新宿自治会

会長に就任して初めての行事でしたので大変緊張しましたがけれど、他の役員の方達が慣れていたのでスムーズに遂行する事が出来ました良かったです。

この訓練に一人でも多くの方が危機感を持って参加していただければよいと思います。そして安否確認訓練の後、東小和田公園にある災害時用の貯水タンクの確認: 用具の確認: そしてエンジンポンプ: 手動ポンプの使い方: 用具の格納庫の場所: 倉庫の鍵を持っている自治会などなど、大変勉強になりました有難う御座いました。



地区拠点...小和田コミセン



地区拠点...YU-ZUルーム

赤松自治会

新型コロナ蔓延の影響により、何もできなかった当自治会が今年初めて取り組んだ全体活動が安否確認となった。旧赤松地域は例年通り8時10分よりハンドスピーカーを持ち、「震度5強の地震が発生、無事避難できる方は玄関ノブにハチマキを縛って下さい」の放送のもと、シエリア(マンション)に於いては管内の掲示等で周知、9時から確認を開始、10時15分には終了した。

会員であるグレイプス(老人施設)は施設内で完結できる為、今回は参加せず、シエリアと旧赤松の住人の安否確認となった。確認の結果、顕著に表れたのは、シエリアと旧赤松のアパートの訓練に対する関心の低さであった。表示方法は玄関ドアへの磁石式プレート、玄関ノブに黄色いハチマキと違っていても無事確認の表示が、40%以下となったのは今後の訓練に課題を残す結果となった。

赤松町自治会

今回の訓練は「防災」に対する意識の向上が見受けられ、自治会内を4ブロックに分割し、各防災担当者の迅速な安否確認行動により地震の発布から、約20分で自治会災害本部への報告が完了しました。課題は確認率が前年度と比較して低下したことで、原因は安否確認訓練の周知不足と思われます。次回の訓練に向け、今回対象外となったアパート居住者、未加入者も含めた周知方法の検討が重要課題です。



地区拠点...丸池公園



地区拠点...スマイルパーク

菱沼小和田自治会

例年5月に行っていた安否確認訓練は、今年はコロナ禍で10月18日に延期された。10月は下期班長の交代時期でもあり、慣れない新班長のために「無事ですカード」を掲示してもらって全世帯名を予めエクセルで記入した。

しかし、カードを出し忘れる世帯が多く、安否確認ができたのは66.4%にとどまった。コロナ禍のため訪問確認をしなかったことも起因している。全世帯に周知し、忘れないようにする工夫がもう少し必要であろう。同時に本部のテント張りや電源の確保なども行ったが、車止めの鍵がなかなか開かず、ボールの撤去も困難であった。時々メンテナンスが必要と感じた。

プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

10月18日(日)に、茅ヶ崎で震度5の地震が発生という想定で、安否確認訓練を実施しました。午前8:30にマンションの住民に一斉連絡システムにて地震発生時の連絡を行い、午前9:10に自治会役員で、各戸のドアに貼られた「避難完了」札を確認しました。不在宅を除き、98戸全戸の無事を確認し、午前9:30には小和田小本部への報告を完了しました。



地区拠点...プランヴェールマンション内